

100万人達成



菊池進組合長(右)らから歓迎を受ける、来場者数100万人目の三浦昌弘さん(左から二人目)と妻の和子さん(左)

夢産直かみごう(上郷町農産物直売組合運営、菊池進組合長)は、3月24日、来場者数100万人を達成しました。100万人目は、盛岡市に向かう途中に訪れた三浦昌弘さん(大船渡市)。三浦さんは「山菜や野菜など魅力ある商品が並び、いつも立ち寄っています。遠野住田インターチェンジ開通を契機に、ますます発展してほしい」と期待を込めました。同産直は、平成24年4月29日に開店し、今年で7年目。地元農家らの野菜や加工品など、地産地消の商品提供と温かな店の雰囲気により市内外から人気を集めています。

直売は山菜や野菜など魅力いっぱい。食堂や地元食材を使ったジェラートも人気です!



1_2,000万人目の藤村さん(中央前後)と関係者 2_約21年前に市情報交流センターとしてオープンした風の丘 3・4_記念セレモニーで大台達成を祝福 5・6_花や野菜、特産品などが豊富に並び来場者を楽しませています 7_市街地を一望できるテラスは、S.L.銀河のビュースポットとしても人気

祝 平成31年3月21日 来場2000万人達成



開業から約21年、遠野風の丘は延べ来場者2,000万人を達成しました。本県道の駅では初の節目となった節目の来場者は、八戸市の藤村寧々さん。約400年前に八戸から遠野へ入り、遠野の礎を築いた女殿様の本名も「ねね」。心温まる不思議な「縁」を感じながら、大台達成を祝福しました。

Interview



遠野風の丘支配人
のりひこ
佐々木 教彦さん
遠野の魅力を全国に

大台達成は地域の皆さんの支えがあったからこそ。物産・観光・防災機能を高め、県内の道の駅と手をとりあいながら岩手、そして、遠野の魅力をもっと発信していきたい。



ねね とある
藤村 寧々さん(母)、徹さん(父)
小学3年=八戸市= 会社役員=同=
2,000万人目、嬉しい!

釜石のおばあちゃんの家に来るときに風の丘に寄ります。食べ物がおいしいのが魅力。2,000万人目と声を掛けられたときはびっくり。緊張したけど、とっても嬉しかったです。

遠野風の丘は、3月21日に延べ来場者2,000万人を達成。県内初の来場者数を記念し、セレモニーが開かれました。2,000万人目は、青森県八戸市の藤村寧々さん(小3)。寛永4年(1627)、八戸南部氏が遠野に入り、鍋倉城主として遠野の礎を築いた際、清心尼公と呼ばれた女殿様の名前も「ねね」。約400年の時を経て生まれた、本市と八戸の不思議で心温まる「縁」に、会場には笑顔が広がりました。セレモニーでは、寧々さんの他、2,000万人前後賞など計12人に本田市市長らが記念品を贈呈。来場者に紅白まんじゅうが配られ、喜びを分かち合いました。同施設は、平成10年6月30日に開業し、今年で21年目。遠野の魅力が味わえる産直施設やレストランなどを構え、平成23年の東日本大震災後は、関係者の休憩場所として機能。平成27年には「全国モデル道の駅」に北海道・東北で唯一選ばれました。東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通など、道路交通網が大きく変化する中、沿岸と内陸の交流拠点、さらには、憩いの場として期待がかかる風の丘。さらなる魅力向上に向けて、関係者が力を注いでいます。